

地域に今あるものを生かす 歴史的建築の再生・活用

講師：高谷時彦氏

日 時：2024 年 5 月 20 日（月）19:00 開演（18:30 開場）

会 場：JIA 館 1 階 建築家倶楽部（渋谷区神宮前 2-3-18）

申込み：不要（先着 30 名）

資料代：500 円

問合先：shinya@yanagisawa-archi.com（柳沢）

主 催：JIA 関東甲信越支部 再生部会

講師略歴：

1952 年 香川県生まれ
1976 年 東京大学都市工学科卒
1976～89 横総合計画事務所（横文彦先生に師事）を経て
1989 年 設計・計画 高谷時彦事務所設立
2005～20 東北公益文科大学大学院特任教授
幕張ベイタウンコア（公共建築賞 2006）、
鶴岡まちなかキネマ（建築学会作品選奨 2013）、
藤沢周平記念館（建築学会作品選集選）、
庄内町ギャラリー温泉町湯（建築家協会優秀建築選 2016）他。
共著『見えがくれする都市』『City with a hidden past』、
共編著『社会を変える公益ビジネス—地方都市の再生をめざして』他。



日和山小幡楼

映画「おくりびと」のロケ地となった洋館を店舗＋集会施設へ転用。1 階には RC ボックスを挿入し耐震と止水、等の問題解決を図り、大胆に床を抜いて明るい吹抜けを実現している。



鶴岡まちなかキネマ

築 80 年を越える木造の絹織物工場を既存トラスの小屋組を残しながら映画館に再生したプロジェクト。地下を掘込み、傾斜床の観客席を形成した。